

試験番号：IVA-14-0022

受付日：平成26年 4月 18日

報告日：平成26年 5月 15日

緩衝材裏打ち突板張り合板床の  
床衝撃音レベル低減量試験  
報 告 書

一般財団法人 日本建築総合試験所  
試験研究センター  
センター長  
工学博士 井上 一朗



報告書発行責任者  
環境試験室長

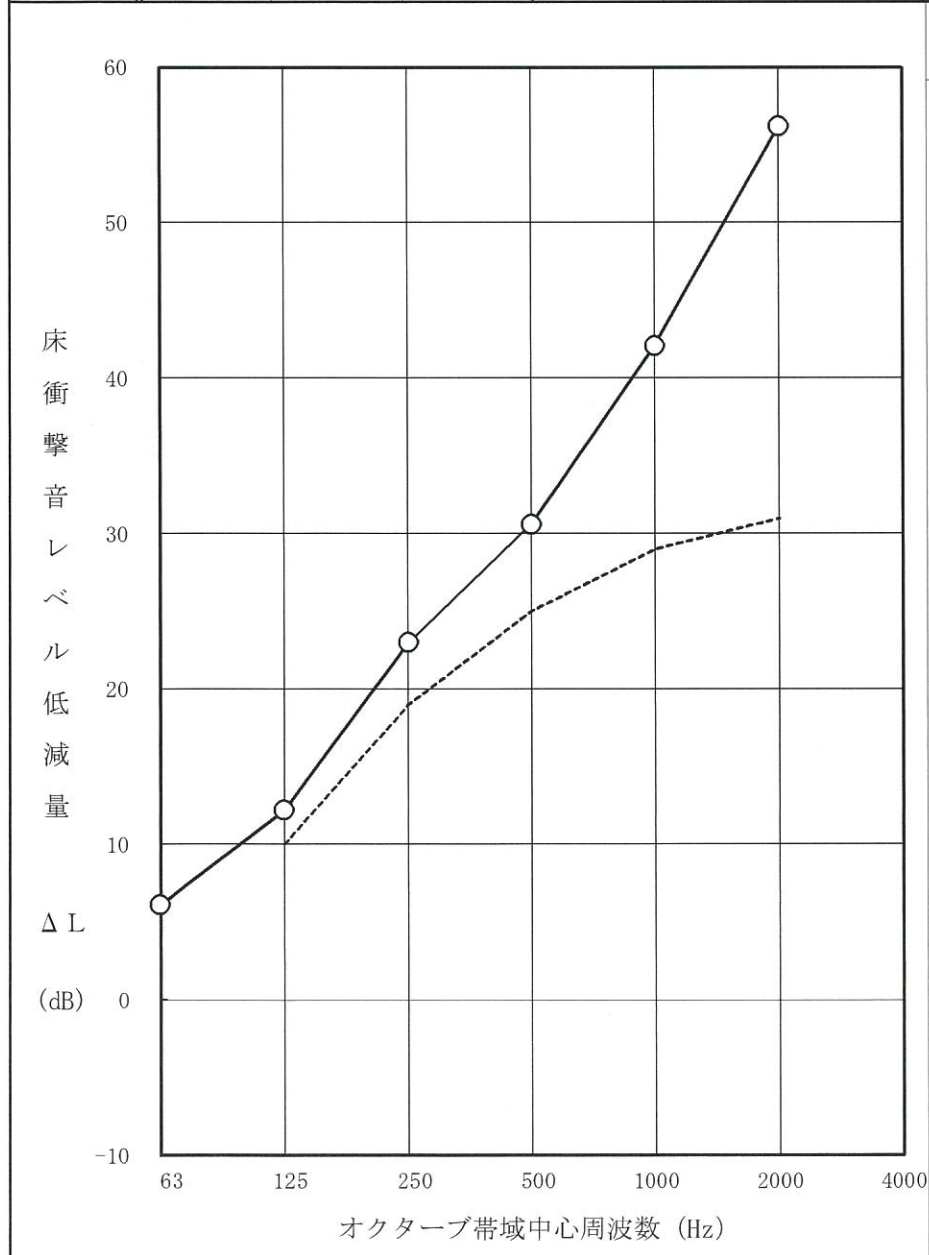
田 中



依頼者	会社名	パナソニックエコソリューションズ内装建材株式会社		
	所在地	群馬県沼田市井土上町135		
試験体	品目名	緩衝材裏打ち突板張り合板床		
	商品名	防音直貼り床材（天然木突板タイプ）ΔLL-4（LL-45）		
	製造年月日	平成26年4月15日	ロット番号	140415
	試験体寸法	W 1704 mm × L 2685 mm × T 13 mm (単体寸法 w 142 mm × l 895 mm)		
	断面構成 (上面側より)	突板張り合板（鋸溝加工）：厚9 mm ウレタン樹脂発泡体（裏面ポリエステル系シート付き）：厚4 mm		
	幅木	—		
	備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験体の詳細を別図1に、外観を写真1に示す。</li> <li>試験体の固定にはウレタン系接着剤を用いた。そして測定までの3時間、試験体全面に合板（24kg/m<sup>2</sup>）を載せて養生した。</li> </ul>		
試験方法	<p>以下の規格および指針に基づき、試験を実施した。試験装置の概要を図1に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JIS A 1440-1:2007「実験室におけるコンクリート床上の床仕上げ構造の床衝撃音レベル低減量の測定方法—第1部：標準軽量衝撃源による方法」</li> <li>JIS A 1440-2:2007「実験室におけるコンクリート床上の床仕上げ構造の床衝撃音レベル低減量の測定方法—第2部：標準重量衝撃源による方法」</li> <li>(財)日本建築総合試験所「床材の床衝撃音低減性能の等級表記指針」（2008年3月）</li> </ul>			
試験結果	試験結果の詳細を表1に示す。床衝撃音低減性能の等級は以下のとおりである。			
	標準軽量衝撃源 (タッピングマシン)	ΔLL(I)-4		
標準重量衝撃源(1) (バングマシン)	—			
試験年月日	試験体無：平成26年4月14日（音源側：14℃、57%RH、受音側：14℃、83%RH） 試験体有：平成26年4月18日（音源側：18℃、71%RH、受音側：15℃、73%RH）			
試験機関	一般財団法人 日本建築総合試験所 (所在地：大阪府吹田市藤白台5丁目8番1号)			
担当者	試験研究センター 環境部 環境試験室 試験責任者・試験担当者：村上 剛士			

表1 床衝撃音レベル低減量試験結果

中心周波数 (Hz)	床衝撃音レベル (単位: dB)								
	タッピングマシン			バングマシン			ゴムボール (参考)		
	試験体無	試験体有	低減量 ΔL	試験体無	試験体有	低減量 ΔL	試験体無	試験体有	低減量 ΔL
63	63.9	57.8	6.1						
125	64.8	52.6	12.2						
250	70.3	47.3	23.0						
500	73.4	42.8	30.6						
1000	74.6	32.5	42.1						
2000	76.5	20.3	56.2						
4000	77.4	17以下	—						



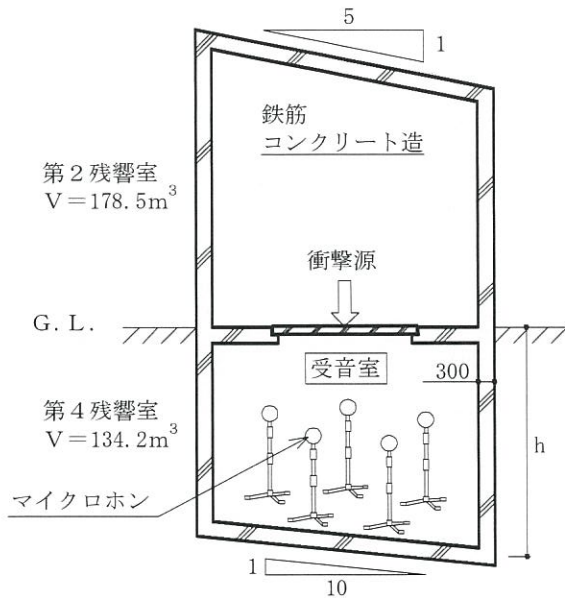
備 考

- ・厚150mmのコンクリート製標準床を用いた試験結果である。
- ・試験終了後の試験体に損傷などの異常は認められなかった。
- ・試験体表面: 18℃

凡例

—○— タッピングマシン

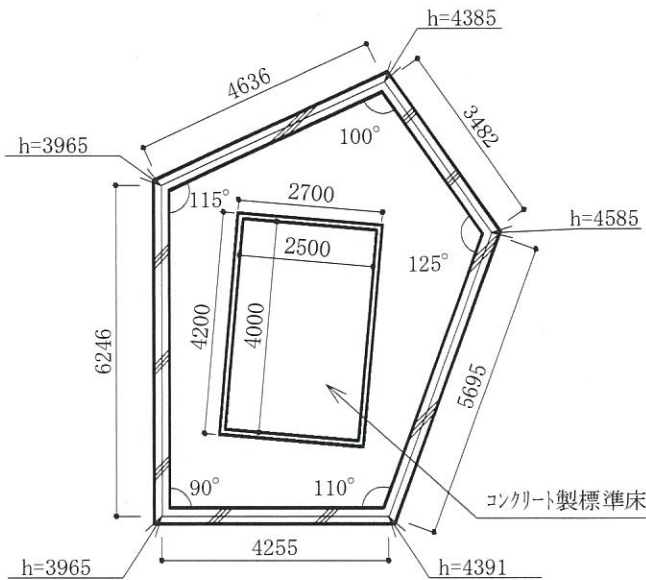
----- ΔLL (I) - 4



【第2・第4残響室断面図】



【コンクリート製標準床および支持部断面図】



【第2残響室平面図】

(壁寸法・隅部高さ(h)は第4残響室の値)

【音源装置】

標準軽量衝撃源 (タッピングマシン) :  
B & K 3 2 0 4, 質量 17.2kg

標準重量衝撃源  
(衝撃力特性 (1) : バングマシン) :  
サツキ製作所 T型, 質量 42.4kg

【受信装置】

マイクロホン : 小野測器 MI-1233

プリアンプ : 小野測器 MI-3110

多チャンネル信号分析器 :  
小野測器 DS-2100

【測定機器】

図1 試験装置の概要 (寸法単位 : mm)





写真1 試験体の外観



### 本書の取扱いについて

- ・ 本書の最終ページは本ページです。
- ・ 本書の試験結果は、本書中に記載の試験体について得られたものです。
- ・ 本書を複製して第三者に開示する場合は、必ず全文を複製することとし、一部分だけの複製は行わないで下さい。
- ・ 本試験結果の一部を、当試験所の名称を付してカタログに掲載する等、一般に開示する場合は、文書によって当試験所の承認を得るようにして下さい。

本書についての問い合わせは、下記までお願いします。

一般財団法人 日本建築総合試験所 試験研究センター  
環境部 環境試験室

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5丁目8番1号

TEL : 06-6834-0603 (直通)

06-6872-0391 (代表)

FAX : 06-6834-0618 (直通)

06-6872-0784 (代表)